Credit Saison Indiaに対する出資について 投資家向け補足説明資料

2024年2月13日 **みずほフィナンシャルグループ** 

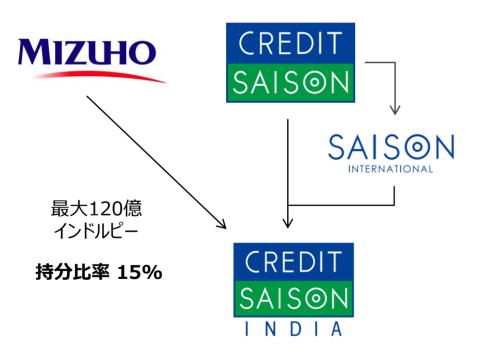
ともに挑む。ともに実る。



### Credit Saison Indiaに対する出資について

- ■世界一の人口数と世界トップクラスの高い経済成長を誇る、インドのリテール向けCredit Saison Indiaに出資し、 持分法適用会社とする予定
- ■インドのリテール金融市場の成長を取り込み

【本件実行後のストラクチャー】



出資先	Credit Saison India (商号:Kisetsu Saison Finance(India)Pvt. Ltd.)
事業内容	個人、中小企業向けレンディング事業
出資額	最大120億インドルピー(約210億円、24年3月目途)
財務情報*1	貸付債権残高 約1,000億円、事業利益 約18億円
特徴	<ul> <li>多彩な経験を持つ経営陣、および人的ネットワークを持つ 現地主導のマネジメントチーム</li> <li>多数のfintech事業者をパートナーにもてる高い テクノロジーケイパビリティ</li> <li>多面的なローンデータの集積実績、リスク分析力</li> <li>高格付*2を裏付けとした高い資金調達力</li> </ul>

\*1: 2022年度 \*2: 地場最大級の格付会社より長期格付AAAを取得

# 財務影響

出資額	最大120億インドルピー(約210億円)
出資比率	約15%
資本影響	CET1比率* △2bps未満

<sup>\*</sup> 新規制、その他有価証券評価差額金を除く

## これまでのアジアにおける出資案件

#### ■ デジタル金融を通じ、アジアの経済成長を取り込む

投資国の

人口規模、経済成長見通しを重視

選別方針 ・銀行口座を持たない(Unbanked) 若年層の厚み

戦略の

• デジタル金融を通じた金融取引の促進

アプローチ

• 店舗起点のリテールビジネスは追求しない





#### ベトナム

21年12月出資

シェア No.1\*1 スーパーアプリ\*2

約7.5%\*3

登録ユーザー数\*1 決済取扱高\*1

**36** 百万人以上 USD **24** B (22年累計)

tonik

フィリピン

22年2月出資

初のデジタルバンク (21年3月開業)

約10%\*4

登録ユーザー数\*5

預金残高\*6

100 万人以上 (23/6末)

USD **146** M

redivo Buy now, Pay later インドネシア

シェア No.1 BNPL\*<sup>7</sup>プロバイダ—

USD 125百万ドル

23年3月出資

登録ユーザー数\*8

Eコマース網羅率

7.8 百万人 (23/9末)

No.1

\*1: (出所) MoMoプレゼンテーション資料 \*2: 対話や配車、決済など日常生活上のサービスを一括で提供するアプリケーション \*3: Online Mobile Services Joint Stock Companyへの出資比率 \*4: Tonik Financial Pte. Ltd.への出資比率 \*5: (出所) Tonik HP \*6: (出所) フィリピン中央銀行 \*7: Buy Now Pay Later (後払い決済サービス) \*8: Kredivoプレゼンテーション資料